

県民の暮らしを支える・まもる

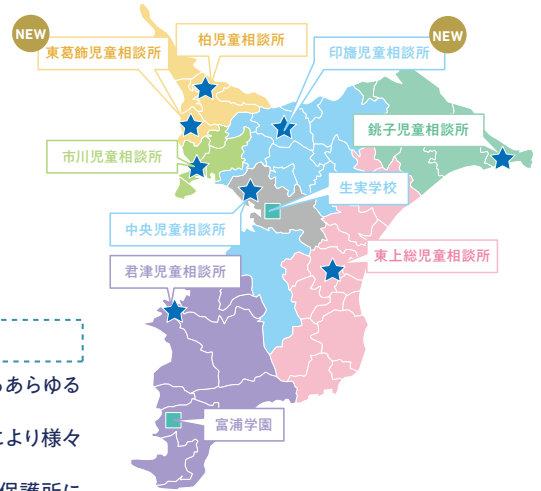
# 専門職

## 児童福祉 守りたい こどもたちの笑顔 ～児童福祉専門職が担うしごと～

千葉県は、全国に先駆けて「千葉県子どもを虐待から守る条例」を定め、すべての子どもたちを児童虐待から守り、子どもたちが幸せを感じながら成長できる県を目指してこうと考えています。

児童福祉の現場は、児童福祉司、児童相談員、児童心理司、児童指導員、保育士、児童自立支援専門員、保健師など様々な専門職が連携して業務を行っています。

主な勤務場所として、児童相談所、生実学校(児童自立支援施設)、富浦学園(児童養護施設)があります。



### 児童相談所について

児童相談所では、児童虐待だけではなく、発達の遅れやしつけ、不登校など、子どもに関するあらゆる相談について、保護者の方々と一緒に考え、アドバイスをするほか、必要な支援に繋がっています。

また、問題の解決にあたっては、児童福祉司や児童心理司、児童相談員による調査・面談等により様々な診断を行い、子どもや保護者にとって最も適する支援が可能となるように努めています。

なお、子どもの安全を確保するために、必要な場合には、児童相談所に併設されている一時保護所に子どもを保護し、児童指導員や保育士が、行動観察や行動診断、生活指導を行っています。

### 生実学校・富浦学園について

#### 生実学校

家庭環境等から生活指導が必要となる子どもたちが入所する児童自立支援施設です。児童自立支援専門員や保育士で採用された職員が、生活支援、学習支援、作業支援等の様々な関わりを通じて施設で暮らす子どもたちの立ち直りを支えています。



#### 富浦学園

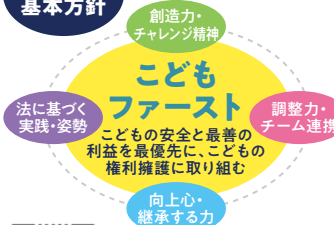
概ね2歳から18歳の子どもたちが暮らしている児童養護施設です。児童指導員や保育士で採用された職員が施設で暮らす子どもたちの生活全般と自立に向けた支援を行っています。



### 今後の取組

- 児童相談所等で働く専門職員が目指すべき職員像に向かって、一層の専門性の向上を図るとともに、幅広い分野において活躍できるよう、「千葉県児童福祉専門職員 人材育成基本方針」を作成し、計画的・体系的な研修を実施するなど、更なる人材育成に力を入れて取り組んでいきます。
- 本県の児童相談所では、管内人口が全国平均を大きく上回っている状況にありますが、これを解消するため、印西市と松戸市に児童相談所の新設を進めており、令和8年度中の開設を予定しています。

### 人材育成基本方針



千葉県児童福祉専門職員採用ホームページ



(仮称)印旛児童相談所イメージ(印西市)

千葉県児童福祉専門職員採用ホームページ

検索

## 農業 主な勤務地は、本庁、県内10か所の農業事務所、 県内各地で試験研究を行う農林総合研究センターなどです。

農業職の仕事の内容は、**行政・普及・試験研究**に大きく分類されます。

農林総合研究センター新本館



### 行政

生産者団体と連携した産地振興や農林水産物のPR、次世代を担う人材の育成・確保などの企画・立案を行います。



量販店における千葉県フェア

### 普及

県内各地域において、高度な技術・知識を有する普及指導員として直接農業者に生産技術や農業経営改善の指導などを行います。経験豊富な農業者に的確な指導をするため、研修や先輩からアドバイスを受けながら、普及指導員としての知識と経験を深めていきます。



なしの安定収穫のために枝の剪定方法を講習会で指導している様子

### 試験研究

消費者ニーズに適した新品種の育成や生産性を高める栽培方式、環境にやさしい農業技術の開発などに取り組んでいます。令和2年3月に農林総合研究センター新本館が開設されました。



育成した日本なし新品種「秋満月(あきみつき)」